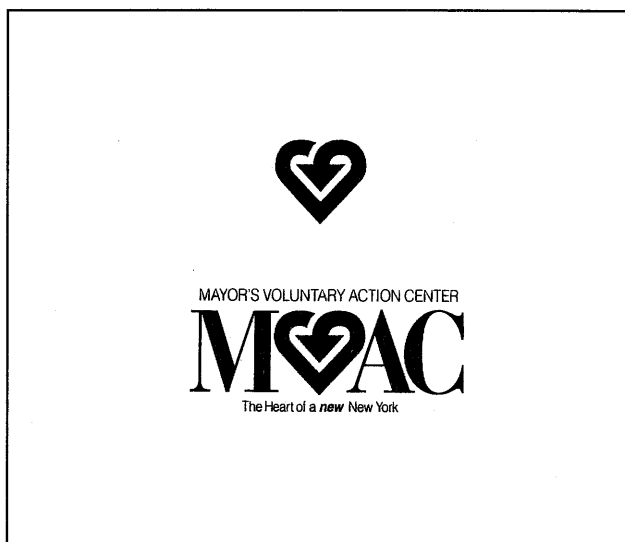


13. MAYAR'S VOLUNTARY ACTION CENTER (MVAC)

MVAC は、ニューヨーク市長直轄の部署として、文化以外の分野を含め、あらゆる分野でボランティアをしたいと考える市民と、ボランティアを採用したいと考える組織や団体をつなぐ機関。市民、機関双方のデータベースを構築し、両者のマッチング業務を行うほか、ボランティア受入団体に対する基礎オリエンテーションやボランティア・マネージャーを対象とする各種ワークショップやコンサルティングも行っている。

📄 機関の概要

運営母体	The City of New York
所在地	61 Chambers Street, New York, NY 10007
TEL	212-788-7550
FAX	212-788-7570
開設年	約 30 年前
年間運営予算	(市役所の機構の一部で、部門としての予算は算出不能)
立地都市人口	731 万人 (1992 年)
組織体制	有給スタッフ：5 名、ボランティアスタッフ：約 35 名



😊 活動とサービスの概要

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ①データベース管理・広報：ボランティアをしたい市民、ボランティアを求めている団体のデータベース管理と双方のマッチング業務。 ②ボランティアに関するトレーニング：ボランティア受入団体への基礎トレーニング、ボランティア・マネージャーを対象としたワークショップなど。 ③ネットワーキング、啓蒙活動：ボランティア管理者のための非営利団体の年次総会の共催、ボランティア・サービス賞の授与。
ボランティア希望者に対する活動内容	<ul style="list-style-type: none"> パンフの配布、ローカル・ケーブル局やラジオ局での募集放送。 希望者には MVAC に出向いてもらい、面接をしながら分野や業務内容などの要望を確認し申込用紙に記入。その場でボランティア募集データベースを検索し、希望にかなうものがあればプリントアウトする（団体への連絡は希望者自身が行う）。
ボランティア募集団体に対する活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 問い合わせをしてきた団体に「リクエスト用紙」を送付（特に広報は行っていない）。 団体は分野によって98種類に分類され、業務の内容、時間などの情報が登録される。 オリエンテーションが必要と記載してきた団体には、担当者を集めてボランティア・マネージメントに関するオリエンテーションを行う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 団体へのオリエンテーションの内容は、ボランティアと有給スタッフの違い、ボランティア導入上の心得、ボランティアの査定方法、理想的なボランティア管理者など。初めて導入する団体は、「無料の労働力」と考えている場合が多いので、まずその考えを改めることが重要。 ボランティアを採用すること自体がたいへんだと考えている団体が多いが、実際には人材を捜すことより、ボランティアを使うことの方がたいへん。この認識を持たずにボランティアを導入して苦勞する非営利団体は少なくない。